

令和7年度 第2回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和8年3月16日（月）午後2時から
場所 防府市文化センター

出席委員 11名
欠席委員 1名
事務局 7名

1 開会挨拶

【市長挨拶】

第1回の会議で、物価高騰や人手不足、米国の関税措置等について様々なご意見をいただき、第6次総合計画の初年度となる令和8年度予算には、経済環境の急変にも、スピード感をもって対応できるようしっかりと対策を組み込んだ。本日は、令和8年度予算の概要を説明するので、忌憚のない御意見を賜りたい。

2 令和8年度当初予算（案）の概要について

【事務局】

令和8年度当初予算（案）の概要について説明

～ 資料1、2、3、4、5～

○ 意見等

【A委員】

第6次総合計画でも第5次総合計画と同様に計画に掲げられたプロジェクトを確実に実施していかれるということで、我々民間も、様々な計画が立てやすく、一緒に同じ目標を持ってやっていけるといところが非常に良い。

商店街のアーケードは昭和41年に建設され、還暦を迎える。アーケードが撤去され、市道が整備されれば、まちなかの土地が流動化し、開発が進むと思う。市と一緒に進めていくということで、民間活力をしっかりと導入しなければいけないと思っている。ワークショップなども実施しているので、ご

協力いただきたい。

また、第8弾プレミアム付商品券は、約2万500件の申し込みがあった。発行セット数6万セットを大きく超える申込となり、予測できていたわけではないと思うが、このタイミングでちょうど販売開始になる。

物価高騰により発行経費も増大している中、消費喚起策として持続可能なものにするには、みんなで負担していくことが必要であり、今回から参加店舗から手数料をいただく。こうしたことが総合計画に応える民間の姿勢だと思う。

ガソリン価格の高騰に対しては、来週から、緊急部会でヒアリングを行う。意見を取りまとめ、市や市内金融機関を含めて共有する。

貿易証明の発行事務を行う中で、市内企業から、荷物が少し遅れ始めていると聞いている。今後、様々な相談が出てくると思うので、市と協議し、対応していきたい。

【市長】

ガソリンや重油の価格の急騰については、国も対策を講じられると思っている。市では、経済環境の急変にも、スピード感をもって対応できるよう、令和8年度予算に物価高騰等対応予備費1億円を計上している。

【会長】

ガソリン価格の高騰だけでなく、石油を原料とする化学製品や化学工業の子会社等にも影響が及んでくるということも想定をしておかないといけない。

【B委員】

商売を行っているので、人が集まるプロジェクトには力を入れてほしいと思う。商店街には空き地がたくさんあるが、どうやったら活性化するだろうか。商店街が活性化し、防府天満宮まで1本道で続くとすごく素敵。市道をきれいに整備していただき、天満宮から防府を見下ろしたときに素敵な観光地になってほしい。

【会長】

脱炭素の支援については、住宅の省エネ支援やモーダルシフト等あるが、中小企業向けの支援はあるか。

【事務局】

防府商工会議所と連携して脱炭素ワークショップ等を開催している。

【会長】

経済情勢が変化する中で、脱炭素が進まない部分もあると思うが、今回のような石油の高騰等に対し、企業の体力を上げていくという意味でも再エネ、場合によっては原子力という話も出てくるかもしれないが、脱炭素を進めることで、石油に依存しない事業展開ができる能力を身につけておくことも必要だと思う。

【C委員】

プレミアム付商品券発行事業や人手不足対策事業など様々な取組をされているが、中小企業者にわかりやすく周知されているか。

【市長】

商工会議所では、市内中小企業からの各種相談を受けられており、市でもコネク22での各種支援制度の情報の発信や相談窓口の充実など、商工会議所と一体的に取り組んでいる。

この度の中東情勢の緊迫化に伴う石油価格等の上昇についても防府商工会議所と一緒に相談窓口などを設置し、取り組んでいきたいと思っているので、そのときは中小企業の皆さんに活用していただけるよう、PRしていきたい。

【D委員】

人手不足、石油価格の高騰等による影響について、非常に懸念している。今年度は、米国の関税措置による影響が非常に懸念される中、防府商工会議所では緊急アンケートを実施され、大変ありがたかった。今後もこういった情報を提供いただきたい。

【E委員】

中小企業の経営課題等をお聞きすることが多いが、新年度予算には、これらがきちんと反映されていると思った。

その上で、さらなる支援策を考えるとすれば、国においても、人手不足対策、

物価高騰対策として設備投資補助金や業務改善助成金などの補助制度があるが、自己負担額が大きく、なかなか中小零細企業は手が出せないといったときに、自己負担部分を補填する手立てをすると、非常に執行率が上がったと聞いている。国の補助金を受ける場合の自己負担分を補填するような考え方も一つあるではないか。

また、当団体では、中小企業を対象にCO₂排出量の算定や削減ロードマップづくりなどを支援しているので、市、またこのような会議を通じて防府市の事業者にもPRしていきたい。

【市長】

補助率については、2分の1、4分の3、3分の2、といろいろあると思うが、重要性やニーズ、財源等を考慮し、事業者が使いやすい補助となるよう考え、それと合わせる形で融資制度についても低利にするなど一定の考え方を持って設定している。国・県・市の支援制度を市内事業者がしっかりと活用できるよう周知していく。

【F委員】

この1年、関税や物価高騰の影響が出てきていると肌感覚で感じる。

市は、4月、5月頃にいち早く動かれ、様々な制度等をつくられた。最初の頃は、利用者が少なかったが、今になって少しずつ影響が出てきていると感じる。商工会議所や金融機関が連携して、こうした非常に良い制度をいかに周知していくかが課題。特に小規模事業者への周知は我々金融機関の役割だと感じており、市や商工会議所と連携して周知していきたい。

【市長】

市においても、新年度は、市広報での周知に加え、積極的に企業訪問を行い、現場の声をこれまで以上にお聞きし、スムーズに対応できるよう努めるので、ご協力をお願いします。

【G委員】

福岡や神戸に行くことが多いが、防府市の手土産は、これだというものなかなか見つからない。新しい商品もできていると思うが、探しきれないというか、買えず、市外のものを買っていくということもよくある。5千円、1万円、

3万円クラスの大型の手土産もできるとよい。

【H委員】

防府市の新規創業件数は県内トップクラスだと思う。
中心市街地活性化リノベーション資金と創業チャレンジ応援事業の補助制度をパッケージ化して新規創業を考えている方にPRし、天満宮の表参道の活性化や創業件数の増加につなげていけるとよい。

【市長】

天満宮表参道の活性化は長年の課題であり、今ようやく動き始めた。商工会議所をはじめ金融機関、民間と一緒にまちづくりを進めていきたい。

【I委員】

一つ一つの施策はとても素晴らしいと思うので、事業者にわかるよう周知いただきたい。物価高騰、法制度や税制の変更などで小規模の会社などは非常に困っていると思う。これらが解決したら、デジタル化やM&A事業承継なども進めていかなければいけない。

商店街のアーケードが撤去されるが、上手に活用していかないと費用に見合わない。民間が行うことだと思うが、何が起爆剤になるか、私の中ではなかなか答えが出ない。

民間で行うべきことは民間でやっていく。行政にはまず人を増やすこと、そして、工業団地など建物が建てられる場所を作っていくことに注力いただきたい。

【市長】

防府市では、生まれてくる子どもの数よりも小学校に入るときの子どもの数が増えているという状況にはある。昨年度の出生数は700人を割っている。

そうした中で、昨年度は転出超過となったものの、令和4年、5年、6年は転入超過になるなど、防府のまちは元気がある。それはやはり民間の皆さんのが元気で、協力が得られているからだと思う。

空き家対策についても、市としてできることにしっかりと取り組んでいく。道路整備など、民間でできないことを行政が行っていく。商工会議所をはじめ、市内企業の皆さま、様々な意見をお聞きしながら、まちづくりを進めていきたい。

いので、お力添えをお願いします。

【J 委員】

表参道に来る手段は、車ではなく徒歩。では、表参道に来るためのスタート地点はどこか。車を停めるところがなければ人は来ない。防府駅から観光客が来て、防府天満宮に行くと考えたら、駅から周遊できるよう、レンタカーや自転車などの移動手段があるか。

商店街のアーケードが撤去されると、日差しが強い暑い日は歩く人はいないのではないか。立派なお店があってもどうやってそこに行くのか。

また、便利になればなるほど、昔、自分たちが遊んでいた場所がなくなってきている。メバル公園などあるが、暑い日には人がいない。暑い日に子どもたちが遊ぶ場所がない。便利になるのは良いことだと思うが、子どもの遊び場を考えなければ、人が増えて子どもが増えてもどこで遊ぶのだろうか、と少し引っかかる。

【市長】

まちづくりに対しては様々な意見があると思う。人口があまり減らないよう、まちづくりを進めていく中で、皆様からご意見をいただいきたい。

【副会長】

起業に関心のある方だけでなく、起業に縁がなかった方や起業に関心のある学生にも、モデル事業などをPRしてほしい。

大学のOBやOGが会社の説明をされ、自分たちの先輩が活躍している場だということを知るだけでも働く場としての魅力の感じ方が変わってくる。魅力の発信の方法も、社長が説明する、新入社員の方々と一緒に会社の思いなどをPRするなど、様々な方法があると思う。魅力発信の方法を学生と一緒に考えるような場などがあれば、もっと人材を供給できるのではないかと考えている。今後とも学生と関わる接点を作っていただきたい。

【市長】

～閉会 挨拶～

本日は貴重な意見をいただき感謝申し上げます。今年は、市制90周年、また、総合計画の初年度ということで、予算をどう執行していくかということが大き

な課題となるので、スピード感を持って取り組んでいきたい。

本日いただいた意見を参考に、また、防府商工会議所をはじめ、皆様からもご意見をいただきながら、防府のまちが元気になるよう取り組んでいくので、お力添えいただきたい。

会議終了 午後 3 時 3 0 分